水痘（水ぼうそうの予防接種）　　予診票の色：赤

●対象者

１歳～３歳の誕生日の前日までに２回

１回目（初回）：標準的には、生後 12 月から生後 15 月に至るまでに１回
２回目（追加）：標準的には、初回接種終了後 6 月から 12 月の間隔をおいて１回
（ただし、１回目から 3 か月以上あけると接種できます）

※ 標準期間を過ぎても３歳になる前日までは接種できます。
※ 水痘にかかったお子さんは受けることができません。担当課までご連絡ください。

水痘とは

感染力の強い病気で空気感染・飛沫感染・接触感染によって広がり、１０歳までに約８０％の小児がかかります。

潜伏期間は、通常２週間（１０～２１日）で、水痘の主な症状は発疹、発熱です。

合併症としては、まれに肺炎、気管支炎、肝炎、皮膚の細菌感染症、心膜炎、小脳炎、髄膜炎、血小板減少性紫斑病などがあります。

水痘-帯状疱疹ウイルスは、水痘が治った後も体内に潜伏し加齢等、免疫力が低下した場合に帯状疱疹を発症することがあります。

●ワクチンの特徴・副反応

水痘-帯状疱疹ウイルスを弱毒化した生ワクチンです。

主な副反応は、発熱、発疹がみられ、まれに接種部位の赤み、腫れ、硬結がみられる。また、まれにアナフィラキシー、急性血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎がみられることがあります。

●予防接種の効果・・・

予防効果については、中等度及び重症者でみると９５～１００％、軽症まで含めると８０～８５％で効果があります。

１回だけの接種では約２０％が感染することから、２回接種をすすめています。